



2026年1月27日

各 位

会 社 名 クオールホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 敬  
(コード番号 3034 プライム市場)  
問い合わせ先 広報部長 白 国 宏 基  
T E L 03-6430-9060

クオール ESG 投資指標「FTSE JPX Blossom Japan Index」及び  
「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定

クオールホールディングス株式会社（東京都港区 代表取締役社長：中村 敬）は、継続的なESGに対する取り組みが国際的に評価され、グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築されたESG投資指標「FTSE JPX Blossom Japan Index」<sup>※1</sup>及び「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」<sup>※2</sup>の構成銘柄に選定されましたので、お知らせします。

※1 「FTSE JPX Blossom Japan Index」

FTSE JPX Blossom Japan Index はグローバル インデックスプロバイダーである FTSE Russell が作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE JPX Blossom Japan Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。FTSE Russell の評価はコーポレートガバナンス、健康と安全性、腐敗防止、気候変動といった分野について行われており、FTSE JPX Blossom Japan Index の構成銘柄である企業は、環境、社会、ガバナンスに関する様々な基準を満たしています。

※2 「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」

グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

クオールグループは、医療サービスを提供する企業として、経済的価値の創出にとどまらず、社会的価値の向上を追求することも重要な責務と考えています。サステナビリティ委員会を中心として、人権や環境課題に関する方針の策定・社内浸透をはじめ、健康経営の推進、気候変動問題への取り組み、ESG データの適切な開示などを継続的に推進してまいりました。

これらの取り組みが評価され、このたび FTSE Russell が提供する ESG 投資指標の構成銘柄に選定されました。今後もグループ全体で ESG に対する取り組みを一層強化し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

## ■本取り組みに該当するクオールグループのマテリアリティ（重要課題）

クオールグループは、持続可能な社会の実現へ向けて社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題に対応するため、マテリアリティを設定しています。医療に携わる企業として、“あなたの、いちばん近くにある安心”をスローガンに、安心・安全な医療を提供するとともに、パートナーシップによって新しい医療価値を創出してまいります。

クオールグループのサステナビリティに関する詳細は、こちらの web サイトをご覧ください。

(<https://www.qolhd.co.jp/sustainability/>)

マテリアリティ	重要テーマ
気候変動への対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・環境負荷の低減</li><li>・自然エネルギーの積極活用</li><li>・医薬品の廃棄削減</li><li>・CO<sub>2</sub>排出量の低減</li></ul>
地域のクオリティ オブ ライフ向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・雇用創出</li><li>・医療従事者への支援</li><li>・次世代への教育支援</li><li>・高齢化社会への対応</li><li>・地域コミュニティへの貢献</li><li>・市民向け講座の実施</li></ul>
従業員のクオリティ オブ ライフ向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ダイバーシティの推進</li><li>・人材開発の促進</li><li>・ワークライフバランス推進</li><li>・福利厚生、労働環境の多様化</li><li>・DX推進による人材の有効活用</li></ul>
持続的な医療による クオリティ オブ ライフへ貢献	<ul style="list-style-type: none"><li>・サプライチェーン管理の強化</li><li>・医療継続を実現する組織力の強化</li><li>・総合ヘルスケア支援の強化</li></ul>
新しい医療価値の創出	<ul style="list-style-type: none"><li>・パートナーシップ事業展開</li><li>・医療・ヘルスケア分野における新たなソリューションの創出</li></ul>
コーポレートガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・取締役会の実効性強化</li><li>・コンプライアンス強化</li><li>・適切な情報開示と透明性の確保</li><li>・情報セキュリティの強化</li><li>・BCPの確立</li></ul>

クオールグループが掲げる 6 つのマテリアリティ（重要課題）

### 【本件開示に関するお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

Tel : 03-6430-9060 (お問い合わせ受付時間：平日 9 時～18 時)

以 上